

1. 評価結果概要表

作成日 平成 19年 4月 20日

【評価実施概要】

事業所番号	1272900430		
法人名	株式会社ケアネット徳洲会		
事業所名	グループホーム はつとみ		
所在地	千葉県鎌ヶ谷市初富204-4 (電話)047-446-6767		
評価機関名	特定非営利活動法人 日本高齢者介護協会		
所在地	東京都文京区本駒込3-15-10		
訪問調査日	平成19年3月12日	評価確定日	4月20日

【情報提供票より】 (19年3月12日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成 18年 3月 1日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	17 人	常勤 8人, 非常勤 9人, 常勤換算 9.8人	

(2) 建物概要

建物構造	木造準耐火造り		
	2階建て	1階 ~	2階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	70,000 円	その他の経費(月額)	77,000 円
敷金	無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(300,000 円)	有りの場合 償却の有無	無
食材料費	朝食	250 円	昼食 500 円
	夕食	550 円	おやつ 100 円
	または1日当たり		1,400 円

(4) 利用者の概要 (3月 12日現在)

利用者人数	17名	男性 4名	女性 13名
要介護1	5名	要介護2	4名
要介護3	8名	要介護4	0名
要介護5	0名	要支援2	0名
年齢	平均 88歳	最低 81歳	最高 96歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	医療法人社団木下会 千葉県西総合病院 ほか
---------	-----------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

開業1年目という新しいグループホームですが、管理者の強い理念に基づいたリーダーシップのもとで、各職員が堅実に業務を遂行しています。「明るい家庭的な雰囲気なかで、日常生活のお世話およびリハビリテーションを行うことで、入居者が有する能力に応じた生活ができるような支援」という事業所の考え方を実現すべく、各職員共に努力している姿が、「明るく、感じがよく、細かな気配りを感じる」という多くの利用者家族の声(アンケート)からもうかがえるホームです。

【重点項目への取組状況】

重点項目①	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4) (今回は初回)
	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4) 今回の自己評価については、管理者のリーダーシップのもと、内部職員が一体となって自己評価の意義を理解して取り組んでいます。
重点項目②	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6) 開業後1年余、運営推進会議は1回開催されています。(平成18年11月17日)。初回であるため、メンバー紹介、グループホームの業務説明等が行われました。(次回開催は平成19年4月中旬予定。)
	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8) 日常業務面では、ユニット毎の「申し送りノート」と「引継ぎミーティング」で家族の意見、苦情等を汲み上げ対応しています。さらに、2ヶ月に1度の「家族会」や各利用者の「誕生会」の際にも、苦情等に対応しています。
重点項目④	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3) 地域の自治会、町内会に加入しており、地域の行事(盆踊り、新年会、敬老会等)への利用者の参加及び事業所内の催し(節分、ヒナ祭り等)への自治会メンバーの参加等が行われています。

2. 評価結果（詳細）

外部 評価	自己 評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期 待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	「明るい家庭的な雰囲気の中で、入居者の意志及び人格を尊重し、笑顔の絶えない共同生活づくり」という理念を事業所内に掲示して運営を行っており、「理念」への積極的なアプローチが感じられます。	○	事業所内に「理念」を掲示していますが、「玄関ホール」に掲示した方が、利用者・家族の方々にもアピール出来、より効果的と思われます。「地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えるサービス」という視点の理念を付加されることを期待します。
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	毎日の朝夕の「引継ぎミーティング」の場で当企業の「理念」を読み上げて、お互いがその共有、実践への意識の確認を日々行っており、他の施設にない熱心さを感じます。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	自治会、町内会への加入がなされており、地域の行事（盆おどり、新年会、敬老会等）への参加、及び事業所での各催し（節分、ヒナ祭り等）への地域の方々の参加が行われており、相互交流が密と感じられます。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	今回の自己評価については、管理者のリーダーシップのもと、内部職員が一体となって自己評価の意義を理解して取り組んでいます。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	第1回の会議は、平成18年11月17日に、市担当課長、民生委員、自治会長、家族代表等のメンバーで実施されています。ここではメンバーの紹介とメンバー間の情報交換を行っている。第2回目は、平成19年4月中旬の予定であるが管理者層に使命感が感じられません。	○	テーマを設定して、それについての各関係者の役割、実施方法等を具体的に出し合い、実行していくことが期待されます。
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	鎌ヶ谷市の保健センターと連携をとっており、「介護技術研修」や連絡協議会での「口腔機能ケア」の研修・会議等でサービスの質の向上を目指しています。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	利用者の健康状態、生活状態等は、個々人の状況に応じて電話での連絡、面会時での報告で行っています。さらに、2ヶ月に1回の「家族会」及び各人の「誕生会」の際にも報告されており、コミュニケーションは順調と感じられます。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	具体的には、ユニット別の毎日の「申し送りノート」や「引継ぎミーティング」あるいは2ヶ月に1回開かれる家族会で家族からの意見、要望、不満、苦情等が明らかになっています。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	開業後約1年となるが、「管理者」の異動のほか職員の異動はなく、利用者への影響は少ないと思われます。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	職員との面接等を通して、個々人の能力、習得希望、スキル等を確認して「認知症リーダー研修」等に派遣しており、地道な育成を実行していると感じられます。		
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	「グループホーム連絡会」に加入しており、同業との交流を盛んに進めています。	○	地域の社会福祉協議会等が主催する研修会への参加も予定しており、交流を通じ益々の専門知識等の習得が期待されます。
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	入所希望者は、デイサービスセンターや医療施設からが多い。これらの施設との違いとホームの概要を説明し、1週間の体験入所を実施、その結果を踏まえ本人、家族等が納得の上で契約をする体制でした。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	お誕生会は、担当者がケーキ作りを手伝い、家族も招いて団欒の一時をともに過ごしてもらい、気持ちの安定が保たれるよう家族等に協力をお願いしています。よりよい信頼関係が育まれる大切な行事です。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	家族、本人は、入所により機能が回復するものという期待感が大きい。リハビリテーション・ケアを多く組み込んでいます。また、食堂と団欒の広間に続く和室にも、大玉風船等の運動補助器具が置かれています。	○	リハビリテーション・ケアは、当ホームの特徴として充実して行われることを期待します。
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	ユニット内では、誰が誰を担当という決まりがなく、全員で対応、気づいた人が個人ケースに記録、また、他の職員による業務日誌の記録と二重の確認作業を行っているため、情報を共有することができます。この記録をもとに家族への説明や介護計画が作成されています。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	介護の交替勤務は、入所者の様態を、業務日誌と詳細に観察記録した引継ぎノートにより引継がれるため、全員が把握でき、状態に適した対応ができます。必要に応じて家族にはこのノートにより説明、計画書見直しの経緯としています。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	投薬、認知症状沈静等の改善策を利用者毎に把握し、取り組む意欲が感じられます。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	かかりつけの訪問医がいます(精神内科医)。歯科、皮膚科等の訪問診療も協力体制は確保しています。800m圏内に総合病院があり、隣接市の病院も協力依頼が行われており、受診に多様な選択ができる体制です。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	該当者はいませんが必要性を考慮して、終末期の看取りについて、あらかじめ家族と本人に意向を伺っています。すでに各家族から同意書を得ています。	○	各家族等とのケアカンファレンス時に「看取り」についての聴取が予定されており、今後の重要課題として成果が期待されます。
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	プライバシーを損なう言葉かけや対応はされていません。また、個人情報の取り扱いには各職員がプライバシーを保護するように十分に注意をしています。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者が、ひとりひとりのペースで静かな生活を営んでいる感じを受けました。また、利用者からの希望により、土、日は家に帰り、家族と過す利用者もいると伺いました。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	個人の好みを尊重し把握しています。主食が米以外の時にも希望者にはご飯の用意がありました。副食は個々の好みか品・量も調整されています。おいしく調理されています。(献立は、食材業者がつくっています)		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	浴室が広く職員が働きやすくなっています。介護を必要としない一人入浴の時は、その近くで職員が洗濯等の作業をしながら、さりげなく見守ることができます。	○	大型の浴場計画を検討中とのことでした。(現在は個浴対応のみ。)今後の取り組みが期待されます。
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	庭に家庭菜園があり、利用者は職員と一緒に作付けや手入れを手伝っており、野菜の成長と収穫を楽しんでいます。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	安全な農道を選び、散策することが可能な恵まれた環境にあり、外出支援が日常的に実施されています。3月から買い物の外出支援も始めますが、馴染みの店ができて、店の人と会話をできると、一層外出が楽しくなるとホームでは期待しています。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	物品納入業者をはじめ人の出入りが多く、それらの人に付いて出てしまう利用者が今までにいたため、昼間はかけざるをえないとしています。	○	玄関の真向かいに開放的な事務室があり管理ができる状況になっています。昼間に鍵をかけなくていい管理を期待します。

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	現在、緊急時訓練は未実施の状態ですが、町内会と連携して防災訓練を月1回のペースで実施する予定です。また、避難方法等のルーブリックにも着手することです。	○	事業所の隣地が市消防署分団という恵まれた立地です。防災・避難訓練を早急に行うことが望まれます。
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	利用者ごとに毎日の食事量や、水分摂取量を記録し、職員全員で状態の把握と共有を行い、支援しています。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節毎の行事（正月、節分、ヒナ祭り等）に合わせて装飾方法を工夫しています。また、利用者の手による「習字、ぬり絵、折り紙」等も飾られており、共用空間を明るく楽しく演出しています。	○	この春より、草花栽培、野菜づくりを建物の南側空地でも実施予定であり、さらに北側ウッドデッキで「バーベキュー」等も予定されており、更なる居心地の良さの創出が期待されます。
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	利用者が使い慣れた洋服ダンス等や仏壇等を居室内の好きな場所に置いて、生活を心地良いものとしています。		

※  は、重点項目。

※ WAMNETに公開する際には、本様式のほか、事業所から提出された自己評価票（様式1）を添付すること。